

『事例研究 ～ 実践を理論的に見る～』

- ・実践を事例検討から一歩進んで、事例研究として広い視野で専門的に捉えてみませんか？
- ・皆さんと事例研究を一緒に行う有意義な時間にしたいと思います。
- ・新人からベテランまで経験年数を問わず、真のソーシャルワークを身に付けたい方、どなたでも歓迎です！

日時・場所：2023年10月4日（水）19:00～20:30

オンライン開催：ZOOM（申込後、招待アドレスを送付します）

参加費：無料

対象者：会員のみ

事前申込制：Googleフォーム <https://forms.gle/YFhmYmavB6GEnfBz8> ← クリック

申込み〆切：10月2日（月）

プログラム

会期日時	内容	事例提供者
10月4日（水）19時～	当日、共有します	松田 隆志（那覇市立病院）
11月〇日（水）19時～	同上	検討中

担当・お問い合わせ

樋口美智子（沖縄国際大学）

嘉手納泉也（大浜第一病院）

TEL：098-866-5171

Google form で以下の入力をお願いします。

1. 病院名（施設名） 2. メールアドレス 3. 氏名（ふりがな）

* 参加証はございません

◎ 申し込みをされた方へ ◎

- ・ZOOM アカウントは開催前日までに皆様へ送信いたします。
- ・事前の配布資料はございません。会の最中においても倫理的配慮を必ず行います。
- ・メールアドレスは正確に記載をお願いいたします。*勉強会目的以外には使用しません。
- ・「一緒に行く」をコンセプトにしているため、音声は適宜使用します。可能でしたらビデオはONでお願いします。また、指名してコメントをお願いする場合があります（パスも可能です）。

◎ 事例研究とは ◎

- ・実践活動を通して現実を構成している本質構造の解明および研究であり、仮説がある。「●●のような支援をすれば、△△のようなメカニズムによって、■●のような結果になる」。

◎ 前回、事例提供を行ってみたいの考察 ◎

患者と一緒に生活課題を共有し複雑化していた問題を一つずつ紐解いていく事で、患者自身で自己決定し、それを遂行できるように支援出来たケースであった。入院途中からの支援者不在に伴い、行政の支援制度活用を試みたが実際の利用までには至らず、大部分をインフォーマルサービスに頼る形になっていた。当院における身寄りなしの方への支援体制について再確認をする必要がある事、近隣施設や他事業所へも、どんな方でも不利益なくサービス利用が出来るように支援体制を構築していく必要性を改めて認識した。

（大浜第二病院：謝敷 奈津子）